



寺 101
清 101
宝小 58-2663

春彼岸 (三月十七日、二十三日)

三月十七日、二十三日は春のお彼岸です。彼岸の中日を「春分の日」と定め、その日を真ん中にした、前後七日間をお彼岸と呼んでいるわけですが、このお彼岸は仏教が民間信仰として伝えられたのに対して、純然たる仏教行事です。しかもインド・中国にもない日本独特の仏教行事です。いかにも日本らしい宗教的しきたりとして、私たちの生活の中に深く関わりをもつて、今日に至っています。「春分の日」も秋の「秋分の日」も昼と夜の長さが大体同じで、太陽は真東から上り真西に沈みます。こうした自然現象から彼岸を「自然をたえ、生物をいつくしむ日」と定義し、この七日間を左にも右にも片寄らない仏教の「中道実践週間」としました。お彼岸は私たちが仏道の修行を心掛け、ご先祖に感謝しご供養に励む時です。

法華経の第十六品は「如来寿量品」といわれています。「品」とは章のことで、散文で書かれた「長行」と「詩」の形で説かれた「偈」の部分から成り立っています。「偈」の部分は「自我得仏来」で始まることから「自我偈」とも呼ばれています。このお経は仏の寿命は永遠の生命であることを説いています。つまり、歴史上のお釈迦さまを通して、その背後に宗教上のお釈迦さまを仰ぐ思想を、はじめて開頭したお経です。

お釈迦様と法華経

このお経は法言えます。前半では、お釈迦さまが悟りを得て、繰り返し現実世界に現れ、悩み苦しむ人々を救済されることが明かにされ、後半では、お釈迦さまの入滅は、人々を教化するためにほかならないことが、有名な「良医のたとえ」によつて説かれています。このお経で、永遠の生命である本仏の相がわかります。当山では「法事の時、このお経をあげています。

宝清寺橋墓苑指定石材店
石の武蔵家
現地管理事務所 TEL0425150123

先祖の御霊お慰め致します。お彼岸に際し各家のお墓を清掃し、ご供養の御霊お慰め致します。

お彼岸に際し塔婆供養をお勧め致します。お塔婆は故人の追善供養のために遺族や親戚の人たちによつて立てられますが、お釈迦さまが亡くなられた時に供養のために立てられたのが始まりといわれ、お塔婆は大きくは宇宙とわれわれ人間の身体を表しています。人間と宇宙を一つとみなし、お塔婆を立てることによつて仏教のいう徳が示される訳です。＊お塔婆の申込は同封の葉書か電話・FAXで、

平成四年年度管理料納金報告書
昨年度は火災保険を一億円に増額しその料金支払本堂回りゼミナリ打・古い塔婆保管場所設置・境内整備・清掃等に使用しました。

六つの行い

お彼岸は、ご先祖をご供養する時期であると共に、私たちの人間性を豊かにしていく努力の一週間です。彼岸とは、私たち人間が到達すべき理想的な世界を指しています。お釈迦さまは、「六つの行い」をお説きになりました。それが、布施・持戒・忍辱・精進・知恵の六つです。この教えは、一つ一つ独立しているわけではなく、例えは布施に徹して修行するうちに、他の五つもこれに伴ってくのです。日蓮聖人は、お題目の修行の中にこの「六つの行い」全てが含まれているとお述べになつています。このお彼岸の一週間、人生の意義をより高めるために少しでも「六つの行い」を心掛け、お題目の修行に励み、ご先祖の供養に努めましょう。

本堂工大井

新規取り替え工事完成「たちばな」四号でお知らせ致しました。本堂の天井を一部格天上(こうてんじょう)を含む、新規取り替え工事は順調に進行し、三月中旬には完成の運びとなりました。春のお彼岸の墓参の折りに、ご本尊さまに参拝し、ご覧下さい。

森田弥一様の後任は、寺より候補者を示し、総代・世話人会にはかり、決定次第お知らせ致します。

★墓参用お花。
お線香を常備★
お花 一〇束
お線香 一〇〇〇円
(お彼岸の期間中)

守玉清信寺

秋川市小川一〇一
局番(〇四二五)
TEL 五八二二六六三
FAX 五八二六三八七
住職 石井 前綜

筆頭総代森田弥一様勇退

第二十五世師父日延上人 合で二月末日を以て退任の代より三十数年に渡つて、たいの申し出があり、や世話人から総代を経て、現職をええな事情と判断し、在では、筆頭総代と言う重要な責務を果たされた森田弥一様も相談の結果、受理致しました。

☆銀行振込
(多摩中央信用金庫秋川支店)
普通預金口座番号「121010000」
※多摩信問での振込の場合ネット入金と申し出れば費用は無料です。
(方法は、入金伝票に金額と左下にある印字という欄に氏名を記入し、窓口でネット入金と申し出る。)

尚、金額や納入の有無等、不明の方はご遠慮なくお尋ね下さい。